

## 最近中国で発見された新鉱床 No. 11

岸本文男(地質相談所)

### XXXVI 遼平県でざくろ石鉱床を発見

河北省地質鉱産局第1広域地質調査隊第3分隊は遼平県の域内で稼行価値のあるざくろ石鉱床を発見・探査してその一部の鉱床評価を行った。河北省科学研究中心化学分析室の鑑定によればその摩耗硬度は6.94で工業基準に達している。

胡学文 張永勝(中国地質報 1986. 2. 10)

### XXXVII 湖南省南部で特大型ルビジウム鉱床

湖南省地質鉱産局湘南地質大隊は数年間の調査を経てこの度特大型規模のルビジウム鉱床の試錐に成功した。同鉱床の鉱石品位は高く鉱床の規模が大きくリチウムと錫を随伴しいずれも総合的な回収が可能である。

楊順泉 周竜元(中国地質報 1986. 2. 10)

### XXXIX 竜泉県に陶土鉱床帯

浙江省第7地質大隊は竜泉県南部の陶土鉱床帯の把握を目的に精査を進め最近一条の陶土鉱床帯の存在を確認した。この鉱床帯中に分布する陶土鉱床は20余りでその総鉱量は100万tを越えている。

胡雄健(中国地質報 1986. 7. 14)

### XL 新疆でまた大型銅—ニッケル鉱床 試錐で確認

多年にわたって新疆ウィーグル族自治区哈密県の土墩墩—黄山 Cu—Ni 鉱床帯の調査に従事してきた新疆ウィーグル族自治区地質鉱産局第6地質大隊は鉱床探査でまた新たな成果を上げた。昨年着々と黄山東方の大型銅—ニッケル鉱床の精査を終了し今年またその西部の黄山超塩基性岩岩体中で一つの大規模銅—ニッケル鉱床を試錐によって把握した。この鉱床は橄欖岩・ハルツパーチャイトの潜頭岩体に胚胎され典型的なマグマ溶離型の鉱床の特徴を備えている。すでに掘進された4井の試錐が鉱体に逢着し鉱体の厚さは200mでかなりの高品位鉱を有する。

楊璽(中国地質報 1987. 8. 10)

### XLIII 雲南省初の天然沸石鉱床

雲南省東南部の硯山県域内で最近鉱量の大きい賦存深度の浅い天然沸石鉱床が雲南省としては初めて発見された。この鉱床の発見は雲南省地質科学研究所

の科学者によるものである。彼等は地質学的な鉱床生成条件を考察し採集した試料を測定・分析し地質調査と鉱床探査の結果を分析して同鉱床で600万tの鉱量を獲得したのである。正端(中国地質報 1986. 7. 14)

### XLIV 貴州省独山県でアンチモン鉱床

中国有色金属工業総公司の貴州地質勘探公司第3総隊は標記独山県で一つのアンチモン鉱床を試錐によって把握した。この鉱床は鉱量が大きく品位が高く有害成分を含有せず選鉱・冶金に対する性質も優れている。

鍾家祥(中国地質報 1987. 11. 23)

### XLVI 湖北省随州県で一大型重晶石鉱床を確認

湖北省地質鉱産局第8地質大隊は9年間の辛苦を経て湖北省随州県において一つの大規模重晶石鉱床を発見・確認した。その鉄量は1,191万t 鉱石の平均BaSO<sub>4</sub>含有率は85%を超え鉱床はカンブリア系下部統最下部の含炭珪質岩系中においてその生成タイプは堆積変成一層状鉱床に属する。

呉雪琼(中国地質報 1987. 8. 28)

### XLVII 安徽省で廃石から金

華東冶金地質勘探公司812隊は安徽省貴池県の梅村郷の馬頭鉄ゴッサン金鉱床を評価するための調査を行った際同鉱山の過去の“ざり”6個が5.09g/tのAu品位であることを発見し選鉱試験によって可溶性の金の侵出率が90%以上であり旧式の青化法で実習率が75%前後と比較的良好であることを確認した。同隊はこの6個の“ざり”からこの堆石場に231kgの金が存在すると算定した。

趙雲佳(中国地質報 1988. 1. 1)

### XLVIII 藍田県で変質型新金鉱床

陝西省地質鉱産局第6地質大隊は地質調査と鉱床探査を繰返しこの度藍田県の塋源—湘子岔一帯で変質型金鉱床を発見した。すでに8条の鉱脈帯を試錐で確認し金のはかに鉛・亜鉛・銀などが含有されていることも明らかになった。この8条のうちの3条は含金品位が稼行品位に達していることも検証された。

李沢華(中国地質報 1986. 7. 7)